

和田川発電所発電開始

北陸電力が常願寺川においてかねて工事中の和田川第1および第2発電所は、有峰ダムの一部湛水完了にともない、6月27日発電を開始した(口絵写真参照)。

和田川発電所は、常願寺川有峰貯水池発電計画(新增設6発電所、合計出力約27万kW)の根幹をなすもので、常願寺川最上流部の有峰盆地のいんこう部に築造する高さ140m、有効容量2億m³の有峰貯水池ダムに直結し、最高水圧120mにおよぶ高圧トンネル約7.2kmの導水路により、有効落差457mを得て、北陸電力最大の出力149000kW(第1発電所27000kW、第2発電所122000kW)を発生させるものである。今回竣工し発電を開始したのは、ダム水位の関係があつて和田川第1発電所24000kW、第2発電所56000kW、計80000kWである。

次に、和田川発電所の計画概要を示す。

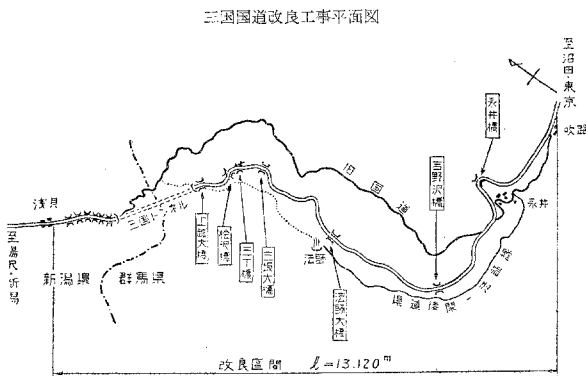
1. 河川名: 常願寺川水系和田川
2. ダム: 型式 重力式コンクリートダム
高さ 140m 堤長 500m
堤体積 1568000m³
3. 貯水池: 各称 有峰貯水池 流域面積 126.3km²
満水位 1087m 利用水深 72m
総貯水量 218000000m³
有効貯水量 200000000m³
4. 発電力: 和田川第1発電所 27000kW
和田川第2発電所 122000kW
5. 工期: 着工 昭和30年8月
全部竣工 昭和36年8月
6. 工事費: 有峰貯水池 147.8億円
和田川第1、第2発電所 86億円

三 国 国 道 開 通

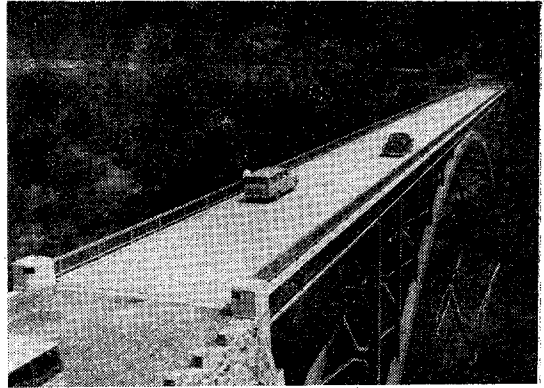
建設省関東地方建設局が昭和27年以来、地形、地質の最悪条件を克服して工事を進めてきた三国国道が、さる6月15日開通した。技術的な面で山岳道路のモデルケースとして注目に価するものである。

路線名: 1級国道17号線

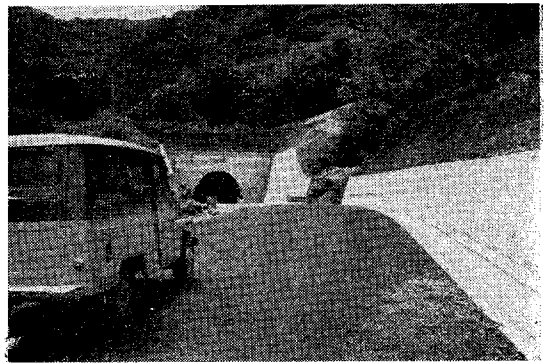
位置: 群馬県利根郡新治村吹路～新潟県南魚沼郡浅貝



- 延長: 13120m (橋梁13橋 延長512.6m / トンネル1カ所 延長1218m)
- 巾員: 7.0m 車道巾員5.5m
- 屈曲: 最小半径30m
- 勾配: 最急6% 平均4.3%
- 総事業費: 12億7000万円
- 三坂大橋 (上落式ローゼ梯, 橋長: 130.9m, 巾員7.0m)



三 国 ト ン ネ ル 新 濁 口 (延 長 1 2 1 8 m, 総 巾 員 7. 6 m, 車 道 5. 5 m)



住宅公団汚水処理場完成

日本住宅公団が大団地造成の一環として進めてきた汚水処理場建設工事は、それぞれ第1期工事を完成した。

a) 所沢汚水処理場(第1期)

所在地: 埼玉県所沢市北所沢

総工事費: 46700000円

処理人口: 12000人

排除方式: 合流式

晴天時日最大汚水量: 1800m³/day

雨天時日最大汚水量: 5400m³/day

b) 香里汚水処理場(第1期)

所在地: 大阪府枚方市香里

総工事費: 51000000円

処理人口: 22000人

排除方式: 分流式

日最大汚水量: 3630m³/day

時間最大汚水量: 5440m³/day

c) ひばりヶ丘汚水処理場(完成、口絵写真参照)

所在地: 東京都田無町

総工事費: 42900000円

処理人口：12 000 人
 排除方式：合流式
 晴天時日最大汚水量：2 376 m³/day
 雨天時日最大汚水量：6 480 m³/day

水質汚濁に対する調査水域決定さる

第 2 回水質審議会は 6 月 16 日麻布の第 3 公邸で蠟山会長始め 16 委員で開かれ、調査基本方針、34 年度調査、実施計画を決定した。

調査基本方針は将来調査水域となる可能性のある水域に関する水質調査計画をあらかじめ作成して水質保全行政の円滑な実施をはかるとともに、これを公表して一般に、周知させることが基本計画の趣旨であるとし、調査基本方針の内容、水域選定上の考慮すべき要因を定め、今後の問題については調査実施方法部会と調査基本計画部会をつくって検討することになった。

本年度調査区域としては石狩川、利根川、木曽川、淀川、遠賀川の 5 河川をきめ、各省の協力を得て調査を行うこととなった。

国際水道会議議題決る

4 年ごとに開かれる国際水道会議は、次回 1961 年、ベルリンで開かれる予定だが、国際水道協会事務局長レオナード・ミリス氏の発表によると、次の 7 議題が選定された。

1. 水道水の殺菌消毒について
2. 地表水および地下水の汚染について
3. 水の計量と計量器について
4. オートメーションについて
5. 統計学的分析について
6. 地方における水道施設の諸問題について
7. 大口径管について

大阪市第 1 回工業用水道拡張事業完工

大阪市水道局が地盤沈下対策の一環として実施してきた第 1 回工業用水道拡張事業は、このほど完工し 6 月 24 日通水式を行った。この事業は総工費 480 000 000 円。西淀川区全地域および東淀川区西半分に存在する 42 工場に対して 40 000 t/day の工業用水を供給しようというもので、この完成により大阪市の工業用水供給量は既設の分を合わせて 95 500 t/day となった。

第 1 回拡張事業の概要

配水管総延長：φ 600～φ 1 000 約 13 000 m

a) 三国系配水：23 000 t/day

淀川より取水、紫島浄水場で沈殿処理、三国配水場より加圧配水を行う。

b) 福島系配水：17 000 t/day

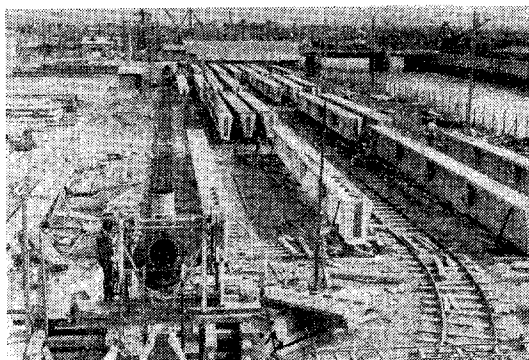
福島浄水場取水ポンプ増強により取水沈殿処理配水を行う。

大阪環状線 P C 桁工事

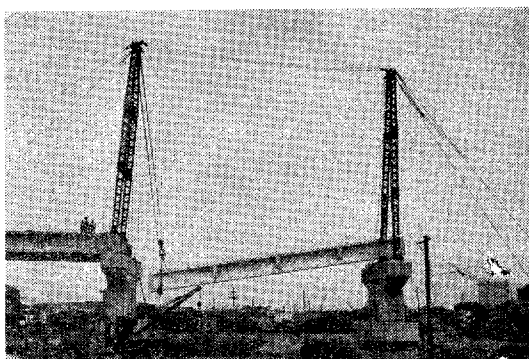
大阪環状線、高架橋工事に P C 桁 92 連を架設することになり、桁の製作および架設工事がすすめられてい

る。大部分はポストテンション方式による 20 m 前後の桁である。写真は支間 19.6 m 複線 8 主桁高架橋の桁の製作および架設中のものである。

桁製作場全景



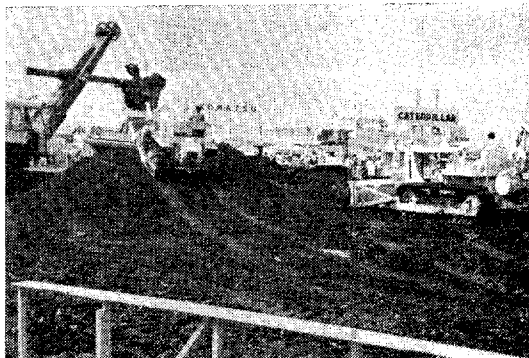
P C 桁架設状況



今年の建設機械展示会

昭和 34 年度建設機械展示会は日本建設機械化協会創立 10 周年記念を祝して 5 月 27 日から 6 月 7 日まで東京三宅坂パレスハイツ跡において盛大に開催された。展示会場にはショベル系掘削機、ブルドーザ、積込機、ダンプトラック、各種締固め機械、コンクリート舗装およびアスファルト舗装用機械など 95 社約 500 点の機械が出品されたが、道路ブームを反映して道路工用機械の進出が強く感じられた。

建設機械の作業試験状況



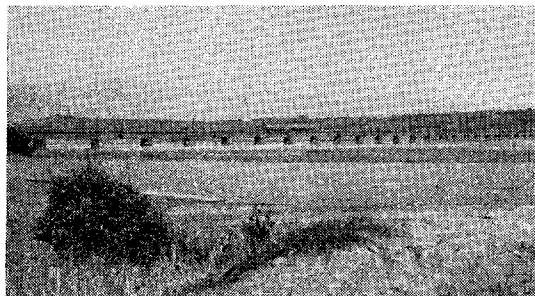
ニ ュ ー ス

今年展示された新しい機種としては、23 t 級の国産大型ブルドーザ、アスファルト舗装仕上げ用の三軸タンDEM ローラ、スプレッドつきや電気式コンクリートフィニッシャ、各社各様の積込機械、道路補修用のポータブルアスファルトプラントなどがある。その他削岩機、クラッシャ、締固め機械など新種や改良機が展示されていた。

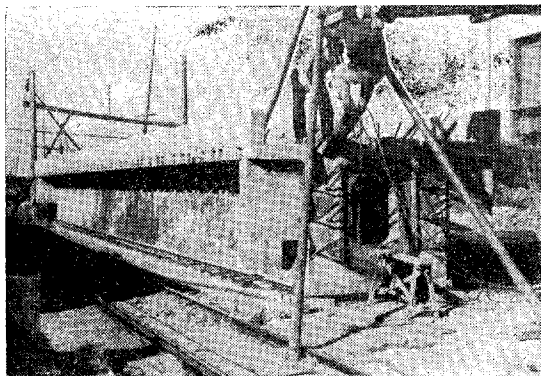
日豊本線小丸川橋梁

日豊本線小丸川橋梁は現在 22.3 m, 35 連 (全長約 800 m) の上路鋼桁が架けられているが、海岸付近で腐食がはなはだしいため、これを PC 桁に架けかえる工事が 1959 年 3 月よりはじめられている。PC 桁は重量 100 t の箱型断面のものであるが、これを夜間の列車間合いを利用してかけえようとするものである。現在までに桁の製作はほぼ半分が完成しており、70 t 操重車 2 台は製作中で、架設の開始は本年末からの予定である。

小丸川現在橋梁 (22.3 m × 35 連)



小丸川 PC 箱桁の製作 (PC ケーブル緊張)



武庫川橋架設工事

架橋地点で川巾約 240 m である。武庫川により東は尼崎市、西は西宮市と分れ、架橋地点より上流 300 m 付近に阪神電車 (本線) 武庫川駅がある。本橋は河川横断 7 @ 40 m = 280 m と取付部など全長約 1 000 m である。

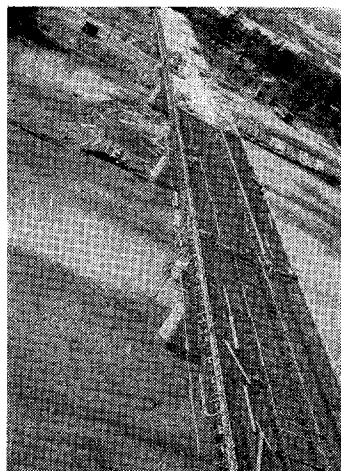
下部工 12 基 橋脚 12 基

井筒 1 基 ($I=20$ m 外径 7.20 m 鉄筋コンクリート厚さ 0.6 m)

コンクリート 約 330 m³

鉄筋 約 16 t
 シュー部重量 // 1.8 t
 橋脚 1 基 (高さ 8 m 巾 9 m)
 コンクリート 170 m³
 鉄筋 6 t

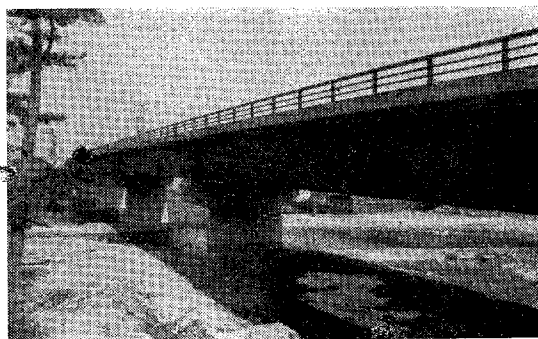
工事中の武庫川橋



上部工

鋼桁 活荷重合成桁 支間 40 m
 桁高 2.40~2.30 m (全巾 2 @ 8.75 m) 主桁 56 本
 主桁間隔 2.20 m 総鋼重 約 1 160 t

武庫川橋側面



昭和 32 年 12 月上流側緩速車道並びに歩道部の下部工事に着工し、昭和 34 年 3 月末現在では、上下流の緩速車道並びに歩道部の下部工、上部鋼桁工は完了し、床版の一部と鋼桁の上塗のみ残っている。取付工事もふくめて、これまでの工事費は約 3 億 9 000 万円であった。

東北・北陸地方に洪水のはしり

今年の梅雨は異常型とされていたが、去る 7 月 1 日から 2 日にかけて洪水のはしりとみられる豪雨が東北、北陸地方に現われた。原因は北上していた梅雨前線によるもので、相当の被害を出している。

この洪水の概況を示すと、雨量は田子倉 (福島県) 171 mm, 猿田ダム (新潟県) 240 mm, 立山 (富山県) 193 mm, 警戒水位を越えた主要河川は、最上川、信濃川、阿賀野川、常願寺川、黒部川。被害状況は、床上浸

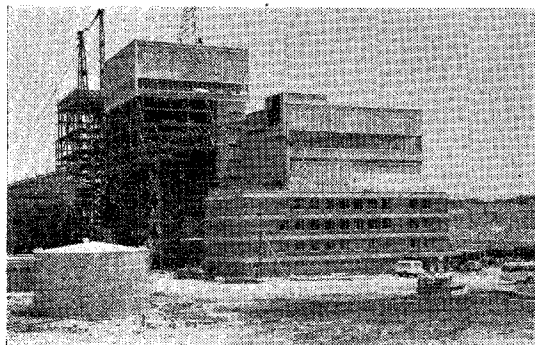
水 210 戸，床下浸水 1200 戸，耕地冠水 1300 ha，罹災者 1200 人，公共土木施設損害 530 箇所，4 億 9000 万円。

仙台火力発電所建設工事

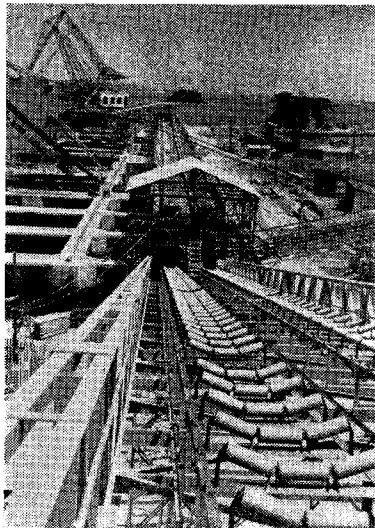
東北電力が現在工事を急いでいる仙台火力発電所の概要は次のとおりである（口絵写真参照）。

- 事業者名：東北電力 K K
- 出力：1号機 175 000 km 2号機 175 000 km
- 着工：1号機 昭和 32 年 1月
2号機 昭和 33 年 9月
- 運転開始：1号機 昭和 35 年 12月
2号機 昭和 35 年 11月

仙台火力発電所1号機本館ならびにサービスビル建設状況



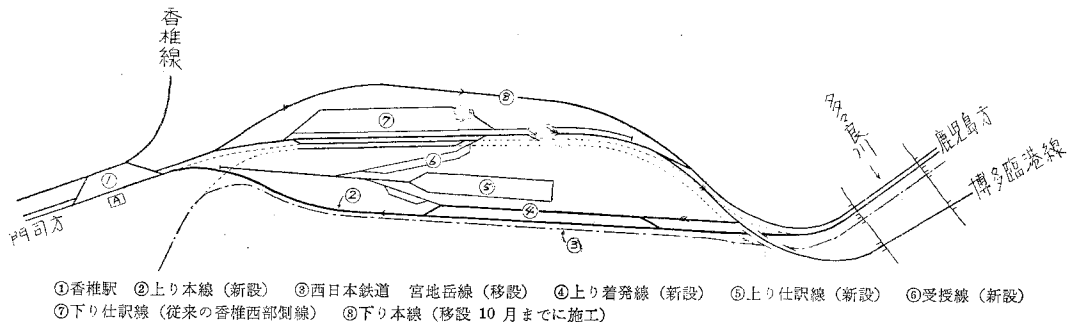
仙台火力発電所工事に活躍するベルトコンベヤ



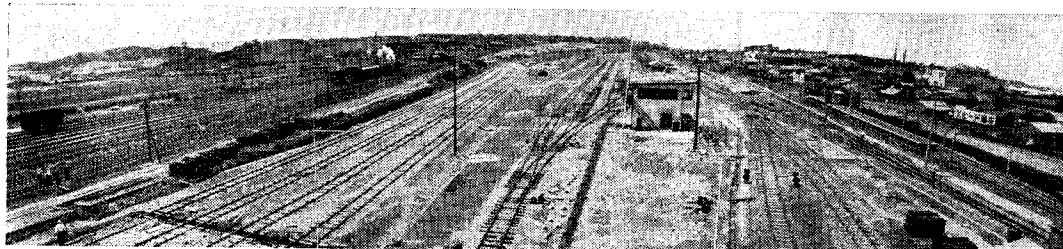
香椎操車場の一部使用開始

国鉄博多地区改良の一環である香椎操車場は，戦時中鹿兒島本線の間操車場として計画，昭和 17 年博多臨港線の開通にともない，暫定的に臨港線関係の仕訳線のみを完成工事中止となつて，「香椎西部」という呼称で現在に至つたものである。

香 椎 操 車 場 略 図



香 椎 操 車 場 全 景



今回博多地区改良工事の再開にあたり，隣接吉塚駅における本線の仕訳作業と，この臨港線関係と統合して，博多地区貨車取扱いの合理化と鹿兒島本線輸送力の増強をはかるために，本操車場を新設する必要があると，昭和 32 年 12 月に着手された。

計画概要は「香椎西部」側線群を利用，戦時中買収済みの付近本線右側，約 20 万 m² の用地に，仕訳能力約 1400 両扱いの操車場とするもので，最も右側に上り本線および着発線群，その内側に上り仕訳線群を設け「西部」の側線をそのまま下り仕訳線とし，この上下仕訳線

ニュース

は中間に受授線によって連絡せしめた。ただし「香椎西部」側線は現在本線左側にあるため、高速な旅客列車に支障なきよう下り本線のみを最左翼に移設し、抱込式としたもので、将来この中の群線を相対的に配列することにより2000両を上まわる能力とする余地がある。

この計画のうち上り線関係が竣工、去る6月18日使用開始の運びになり、引続き下り線関係を施工来る10月末日全面使用開始の予定である。施工数量の主なもの

土工	盛土約 45 000 m ³	} 流築を主とした
	切取 33 000 m ³	
軌道	本線約 2 500 m	着発線 EL 600×3 線
	側線 上り仕訳線	EL 2 840 m
	その他	EL 1 660 m
建物	運転本部 鉄筋コンクリート 2 階建、2 階	
	扱所 338 m ²	その他

等である。なお従来本線右側に併行していた、西日本鉄道宮地岳線は本工事に支障のため、延長約2kmにわたり国鉄上り本線の右側に移設、去る3月1日より小じんまりした2つの駅とともに営業を開始している。

本州・四国連絡道路調査始まる

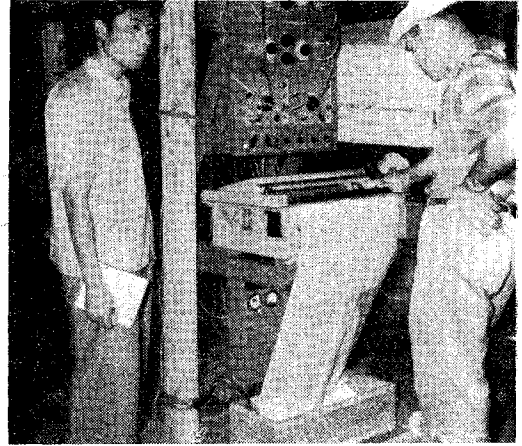
本州と四国とを陸路で結ぼうという計画については関門トンネル、青函トンネルと並んで長い間の夢であり、各方面で考えられた案も数種におよんでいる。建設省では本年度から4カ年計画で連絡道路の本格的調査に乗出

すことになり、経済調査、地質調査、計画線調査、海洋気象調査、設計試験等、多角的な調査が予定されているが、このほどその第1期調査として4カ所の架橋予定線に沿ってスパーカー（水中スパークによって起された低周波の音波を用い海底および海底下の地層からの反射波を記録する機械）による海底地質調査が実施された。

調査期日：6月23日～7月4日

調査ルート：(1) 明石・鳴門両海峡 (2) 児島市～坂出市 (3) 玉野市～高松市 (4) 尾道市～今治市

海底地質探査機（スパーカー）



建設省関係人事異動

(新)			(旧)	
計 画 局 長	関 盛 吉 雄	道 路 局 次 長	6 月 16 日 付	
道 路 局 次 長	前 田 光 嘉	大 臣 官 房 文 書 課 長	〃	
土 木 研 究 所 長	横 田 周 平	中 国 地 方 建 設 局 河 川 部 長	〃	
東 北 地 方 建 設 局 長	小 池 誉 馨	関 東 地 方 建 設 局 河 川 部 長	〃	
関 東 地 方 建 設 局 長	梶 谷 薫	中 部 地 方 建 設 局 長	〃	
中 部 地 方 建 設 局 長	高 野 務	大 臣 官 房 技 術 参 事 官	〃	
辞 職 (首都高速道路公団理事)	美 馬 郁 夫	計 画 局 長	〃	
辞 職	秋 草 勲	土 木 研 究 所 長	〃	
辞 職	佐 藤 清 見	東 北 地 方 建 設 局 長	〃	
辞 職 (首都高速道路公団理事)	中 島 武	関 東 地 方 建 設 局 長	〃	

地方庁土木部長人事異動

(新)		(旧)	
退 職	三 丁 目 喜 一 郎	北 海 道 土 木 部 長	4 月 21 日 付
〃	近 藤 健 武	神 奈 川 県 土 木 部 長	5 月 26 日 付
北 海 道 土 木 部 長	三 島 勇	前 北 海 道 開 発 庁 地 政 課 長	6 月 6 日 付
神 奈 川 県 土 木 部 長	兼 重 信 雄	福 岡 県 土 木 部 長	6 月 11 日 付
福 岡 県 土 木 部 長	石 井 謙 讓	山 口 県 土 木 建 築 部 長	6 月 16 日 付
山 口 県 土 木 建 築 部 長	児 玉 芳 夫	愛 媛 県 土 木 部 長	〃
愛 媛 県 土 木 部 長	戸 田 福 三 郎	建 設 省 砂 防 課 長	〃
徳 島 県 土 木 部 長	木 戸 鎮 朔	静 岡 県 河 川 課 長	〃
退 職	矢 内 保 夫	高 知 県 土 木 部 長	6 月 17 日 付
高 知 県 土 木 部 長	野 田 二 朗	長 野 県 河 川 課 長	6 月 18 日 付